



これまでの経験を
島根県の安全のために

雲南県土整備事務所

ほ場・防災課 技師

<採用> 令和4年度
<出身> 島根県
<これまでの職場>
R4～R6 県央県土整備事務所
R7～ 現在の職場



県職員を選んだきっかけは？

自衛隊とは違う立場で地域に貢献したい

私は高校卒業後、自衛隊に入隊し、災害派遣などを通じて人々の暮らしを守る仕事に携わってきました。その経験から、「災害が起きてから守る」だけでなく、「災害を未然に防ぐ」仕事にも魅力を感じました。また、島根県に帰省中に実家で稲作を営んでいる祖父、祖母から営農の過酷さや担い手不足について、雑談を交えながら話を聞く中で、次第に島根県の農業や地域の課題にも関心を持つようになり、地元で貢献したいという思いが強まったため、島根県職員(総合土木職)を目指しました。

印象に残っているエピソード

暮らしを守る仕事のやりがい

普段の業務では、図面や工事に関する書類を扱うことが多いですが、仕事の中心は、工事が円滑に進むよう建設会社や市町村の職員、地域の方々と協議を重ねながら、一つの事業を進めていくことです。

さまざまな立場の人と協力して形あるものをつくり上げていくことに、大きな達成感があります。また、自分たちの仕事が地域の安全を守り、農業や暮らしを支えていることを実感できるため、とてもやりがいを感じています。

現在の仕事内容は？

防災事業で地域の安心を次世代へつなぐ。

現在は、ため池の整備や地すべり対策、豪雨災害などで被災した施設の復旧事業を担当しています。これらの事業は、災害を未然に防ぎ、地域の安全・安心と農業を守るために欠かせない仕事です。

土木の仕事は、完成した施設が形として残り、地域に貢献していることを実感できるのが大きな魅力です。また、設計や工事監督、地元の方々との調整など、さまざまな業務を経験しながら幅広い知識や技術を身に付けることができます。

職場の雰囲気について

相談しやすい環境が成長につながる

入庁後は、まず新規採用職員研修があり、県職員としての心構えや電話対応など、仕事の基本を学ぶことができます。また、グループ活動もあるため、同期と交流する機会が多く、早い段階で横のつながりができます。

配属後は、それぞれの部署で先輩職員に教わりながら仕事を進めていきます。不安や悩みがあっても、近くには同じ時期に入庁した同期がいるので、お互いに相談し合い、支え合いながら成長していける環境です。